



地域を育み、 大陸をつなぐ

2010～2011 年度 RI 会長
レイ・クリンギンスミス

週報

RI 第 2730 地区ガバナー 伊藤 学而
鹿児島市内分区ガバナー補佐 山下 皓三

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 堀之内弘昭 副会長 上園哲生 幹事 上田平重樹
(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020
(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10
サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail tounanrc@alto.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2016 回 No.13
平成 22 年 10 月 5 日 (火)
本日のプログラム
「職業奉仕フォーラム」

10 月 お誕生日おめでとうございます。
平塚 五郎(19日) 渡海谷 宗宜(22日)



第 2015 回例会報告

会長挨拶

堀之内弘昭会長

皆様こんにちは。10月12日は伊藤学而ガバナー公式訪問となっております。それに伴い2週間前の本日9月28日は恒例により山下皓三ガバナー補佐にガバナー公式訪問に向けてご指導いただく為にご来訪頂き、誠に有難うございます。新年度が始まって2ヶ月が過ぎ、プログラムに乗っ取って行事を行ってきましたが、まだまだ多くの行事が残っておりますので色々と諸問題についてよろしく御教示頂きたいと思っております。私事ですが、24日朝右足に激痛を感じ歩けなくなりました。大切な例会を欠席して誠に申し訳ございません。会員の皆様本当に申し訳ございません。特に山田前会長にはご迷惑おかけしました。

会務報告

- 10月のロータリーレート 1ドル=86円
- 地区大会 会員交流大懇親会 地元焼酎ご提供のお願い
- 二火会について
日時：10月12日(火) 18:30～

出席報告

会員数	30名	前々回出席者	21名
出席会員	19名	メイクアップ	1名
出席率	63.33%	出席訂正率	73.33%

スマイルボックス

- ☆堀之内弘昭君—ガバナー補佐訪問御礼申し上げます。本日は体調不良のため出席できずお詫び申し上げます。
- ☆上田平重樹君—山下ガバナー補佐、ご訪問ありがとうございます。
- ☆上原勝君—古希のお祝いを頂き有難うございました。アツという間の70歳でした。残りの時間を大切にすつもりです。
- ☆須部純範君—結婚記念のお祝いを頂きありがとうございます。山下ガバナー補佐の御訪問ありがとうございます。

本日計 11,000 円 累計 102,000 円

本日のプログラム 「ガバナー補佐 訪問」

＜山下皓三ガバナー補佐＞



理事会報告 2010.9.28

*10月～11月のプログラム確認

*平塚さんのお見舞いについて実施する

*出席率向上のための対策（推薦人を中心に声かけ）

*次期幹事の宇都会員を理事とする（平塚理事、長期療養につき）

*その他（ガバナー補佐より説明後）

- 1.「効果的なロータリークラブとなるための活動計画の指標」作成のための話し合いの機会を設ける。（10/5が最適）
- 2.四大奉仕が五大奉仕になるため 定款の書き換え、変更箇所が出るので次期理事会の議案とする。

以上。

＜職業奉仕月間＞ （ロータリーの友より抜粋）

「四つのテスト、その由来をひもとく」

今から60年以上も前の大恐慌のさなか、一人のロータリアンが4項目からなる簡明な倫理指針を考案しました。この指針は、窮地にあった彼の会社を救うのに役立ったのです。この指針が表現していた内容や信条はまた、ほかの多くの人達に対しても、倫理的羅針盤を提供することになりました。やがて、国際ローター(RI)によって採用され、広く知れ渡ることになったこの四つのテストは、今日では、ローターの基本理念の一つとなっています。今世紀におけるローターの最もすばらしい声明の一つと言っても良いでしょう。

創案は七つのテスト

この四つのテストの創案者であるハーバート J. テーラー（ハーブ）は行動家で、信仰心が厚く、道義を重んじる人物でした。1893年にアメリカ・シカゴ州に生まれたハーブは、イリノイ州エバングストンのノースウェスト大学を苦学の末、卒業しました。卒業後、彼は、YMCA および英国陸軍福祉機関の任務で渡仏し、第1次世界大戦ではアメリカ海軍の補給部隊員として従軍しました。1919年にグロリア・フォーブリックさんと結婚して、アメリカ・オハイオ州に新居を構えたハーブは同地でシカゴ石油会社に勤務しました。彼は1年後に同社を退社し、保険・不動産・石油リース仲介業を始めました。数年に及ぶこの事業でいささかの成功

を収めたハーブは、1925年にイリノイ州に戻り、シカゴのジェム・テイラー社に入社、とんとん拍子に昇進しました。やがてシカゴ RC の会員となりました。1932年、ジェム・テイラー社の次期社長候補であったハーブは、破産寸前状態にあったシカゴのクラブ・アミンコム社の再建を依頼されました。調理器具メーカーの同社は、総資産額を40万ドル。上回る負債を抱え、倒産の瀬戸際にありましたが、ハーブはこの難事業を引き受け、危機に瀕した同社に自らの運命を託したのです。彼はジェム社を辞め、これまでの給与の8割減という収入でクラブ・アミンコム社の社長に就任しました。そのうえ、運営資金に充てるため、自己資金6,100ドルを同社に投資したのです。信仰心の厚いハーブは、同社を建て直し、大恐慌下の沈滞市場を払拭するための手段として、社員たちに倫理的価値の目安となる簡潔な指針を提供すべく、神の啓示を求めて祈りを捧げました。社の倫理訓について構想をめぐらせたハーブは最初、およそ100語からなる文章を考えたためでしたが、これは長すぎると判断しました。そこで更に推敲を重ね、それを七つの項目にまとめたのです。四つのテストは当初は七つのテストだったのです。しかし、これでも長いと考えた彼は、それを自問形式の4項目にまとめあげ、それが今日の四つのテストとなりました。

広告に適用した四つのテスト

次にハーブは、出来上がった項目を社の4部門の部長に諮りました。その4人はローマカトリック信者、クリスチャン Scientist、正統派メソヂヤ教徒、長老派教会員という人達でした。四つのテストが自分達の宗教上の教義に反しないばかりでなく、私生活ならびに職業人としての生活の模範指針になるものであることで、意見の一致を見ました。このようにして、「言行はこれに照らしてから」の四つのテストが誕生したのです。

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか



（ロータリーの友 より一部抜粋 10P）

10/12(火) ガバナー公式訪問		10/19(火) 地区大会報告1		10/26(火) 地区大会報告2	
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)		
10/6 (木)	鹿児島南	サンロイヤル	職場訪問 南九州物流センター		
	鹿児島西	山形屋	ガバナー補佐公式訪問		
	鹿児島南	ゆづき	職業奉仕委員長卓話		
10/7 (木)	鹿児島東	山形屋	ガバナー補佐訪問		
	鹿児島北	鹿児島東ホテル	クラブフォーラム(職業奉仕委員会)		
	オホクワジ	鹿児島東急イン	職業奉仕委員会担当		
10/8(金)	鹿児島	山形屋	地区大会と同時並行のため休会		
10/11(月)	鹿児島中央	山形屋	祝日の為休会		
10/12(火)	鹿児島南	鹿児島東急イン	クラブ協議会(地区大会報告)		